



市制施行60周年を迎える
年がスタートしました。

市庁舎問題については、
庁内での検証や市議会から
のご提言等をいただきましたな
がら検討してまいりましたが、
これには3つの重要課題が
密接に絡み合っています。

1つ目は長年の課題である
新庁舎建設、2つ目は耐震
性の不足により安全性の観
点から閉館した福祉会館の
早期建設、3つ目は慎重か
つ丁寧に対応している清掃
関連施設の再配置です。

この間、具体的かつ、現
実的な方向性を固めるた
め、庁舎建設予定地内に土
壌汚染の恐れがないことを
確認したほか、市民検討委
員会、市議会等でご議論を
いただきましたながら、(仮称)
新福祉会館建設基本計画の
策定と並行して、各種関係
法令に照らした施設配置案
を練り上げてきました。

さまざまな情報が集約さ
れる中、市域の中央に位置
する庁舎建設予定地に、市
民サービスと防災拠点の中
枢を担う庁舎と福祉サービ
スの拠点となる福祉会館を
同じ敷地内で多機能・複合
施設として展開していくこ
とが、市民の皆さんにとっ
て、また、まちづくりの視
点においても大きな利点が
あるとの考えに至りまし
た。そして、これらの施設

は本市の新たなランドマー
クともなるものであり、コ
バスの路線の総合的な見直
しのほか、周辺の整備にも
思いをはせたい気持ちにな
りますが、まず、第二庁舎
の賃貸借の長期化を解消す
ること、災害発生時におけ
る市民の皆さんの生命と財
産を守る拠点を作り上げる
ことと併せ、バリアフリー
対応や高度化する個人情報
に関わるセキュリティ対策
などの社会的ニーズにも適
切に対応していくことが重要
だと考えています。

現在、総事業費を約90億
円と見込む中、適切な施設
管理や計画的な改修等も行
うことにより、50年、さら
に数十年と永く利用する施
設であることから、将来世
代の応分の負担を考慮し、
地方債の活用も考えていま
す。このあとの基本設計段
階において、コスト意識を
重視しつつ、多機能・複合
化のメリットを最大限に追
求するとともに、建物の生
涯費用(ライフサイクルコ
スト)の適正化にも取り組
んでいきます。平成33年度
竣工へ向けて邁進してまい
りますので、ご理解とご協
力を賜りますよう、心より
お願い申し上げます。

小倉井市長

西田真一郎